

R2 年度地方創生関係事業検証結果

事業名	まちなかスポーツで子育てを楽しめるまちづくりプロジェクト ～【スポーツ】×【子ども】＝【子育て世代の定住促進・中心市街地活性化】～																																
事業概要	従来の子育て支援が福祉的な取組が多い中、全国的にも珍しい「アクティブな子育て」を合言葉に、子どもたちがスポーツに親しむきっかけづくりや体力の向上を図りスポーツを通じた子育てを推進するなかで、まちなかの賑わいを創出し、それが求心力となって、特に若い世代が集まるまちへと変革して定住促進に繋げていくことを目指す。																																
K P I	<table border="1" data-bbox="468 572 1904 1107"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R1 年度)</th> </tr> <tr> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> <th>R1 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 歳以下の子どもを持つ世帯の割合増加</td> <td>10.50%</td> <td>10.44%</td> <td>10.09%</td> <td>9.8%</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>【スポーツ】×【子育て】事業への市外からの参加者数</td> <td>50 人</td> <td>192 人</td> <td>233 人</td> <td>253 人</td> <td>200 人</td> </tr> <tr> <td>体力・運動能力調査による総合判定基準(A～Eの五段階)のうちA判定の幼児割合の向上</td> <td>0%</td> <td>1.6%</td> <td>2.7%</td> <td>2.1%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>						数値目標	基準値	実績値			目標値 (R1 年度)	H29 年度	H30 年度	R1 年度	6 歳以下の子どもを持つ世帯の割合増加	10.50%	10.44%	10.09%	9.8%	11.2%	【スポーツ】×【子育て】事業への市外からの参加者数	50 人	192 人	233 人	253 人	200 人	体力・運動能力調査による総合判定基準(A～Eの五段階)のうちA判定の幼児割合の向上	0%	1.6%	2.7%	2.1%	10%
数値目標	基準値	実績値			目標値 (R1 年度)																												
		H29 年度	H30 年度	R1 年度																													
6 歳以下の子どもを持つ世帯の割合増加	10.50%	10.44%	10.09%	9.8%	11.2%																												
【スポーツ】×【子育て】事業への市外からの参加者数	50 人	192 人	233 人	253 人	200 人																												
体力・運動能力調査による総合判定基準(A～Eの五段階)のうちA判定の幼児割合の向上	0%	1.6%	2.7%	2.1%	10%																												
外部評価 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季でもできる運動の取り組みを進めていただきたい。 ・ 「6 歳以下の子どもたちを持つ世帯の割合増加」では、基準値を若干下回っているが、9.8%を達成できたのは高く評価できる。 ・ 「体力運動能力評価調査」の結果では、A 判定の基準は目標値を下回ったが、A、B 判定の割合が 7.7%上昇したのは子どもたちの運動能力が高まった現れであり評価できる。 ・ 民間団体の運営へ移行するイベント事業が継続し発展することに期待したい。 ・ WEB を使った自宅でもできる体操教室なども検討していただきたい。 																																

R2 年度地方創生関係事業検証結果

事業名	新発田 DMO 活動に基づく広域観光圏創出と輸出促進による稼げる地域づくり																																											
事業概要	観光による交流人口の増加及び経済効果の創出を目指す DMO を設立し、新発田市及び阿賀北地域の観光資源を活用した回遊促進策や送客を進めるとともに、台湾等における物産商談会の実施のほか、農産物等の生産現場視察や地元業者との商談などを行うことにより、産業の底上げを行う。																																											
K P I	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="5">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R3 年度)</th> </tr> <tr> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EC サイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数 (※1)</td> <td>58 品目</td> <td>66 品目</td> <td>68 品目</td> <td>49 品目</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>85 品目</td> </tr> <tr> <td>管内農産物等輸出金額</td> <td>4,000 千円</td> <td>6,250 千円</td> <td>29,303 千円</td> <td>53,108 千円</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>45,700 千円</td> </tr> <tr> <td>管内インバウンド客宿泊者数</td> <td>5,417 人</td> <td>13,740 人</td> <td>12,870 人</td> <td>19,391 人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>22,500 人</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値	実績値					目標値 (R3 年度)	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	EC サイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数 (※1)	58 品目	66 品目	68 品目	49 品目	—	—	85 品目	管内農産物等輸出金額	4,000 千円	6,250 千円	29,303 千円	53,108 千円	—	—	45,700 千円	管内インバウンド客宿泊者数	5,417 人	13,740 人	12,870 人	19,391 人	—	—	22,500 人						
	数値目標			基準値	実績値					目標値 (R3 年度)																																		
		H29 年度	H30 年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度																																					
	EC サイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数 (※1)	58 品目	66 品目	68 品目	49 品目	—	—	85 品目																																				
管内農産物等輸出金額	4,000 千円	6,250 千円	29,303 千円	53,108 千円	—	—	45,700 千円																																					
管内インバウンド客宿泊者数	5,417 人	13,740 人	12,870 人	19,391 人	—	—	22,500 人																																					
<p>※1：新発田 DMO がプロデュース、コーディネートを行ったものに限る。</p>																																												
外部評価 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前（駅構内を含む）やウェブサイトで得られる情報が少ない。 ・バーチャルツアーなど映像（動画）で情報を提供し、そこに名産のレポートも入れてはどうか。 ・米以外の品目を増やすことが課題である。 ・「管内農産物等輸出金額」の目標値を大幅に超えたのは非常に評価できる。 ・動画を使った生産者自身の PR や地場の農作物や工芸品が作られるまでのストーリーを打ち出すコンテンツの充実や、世界各国から簡単に購入できるネット決済システムなども検討してはどうか。 																																											

R2 年度地方創生関係事業検証結果

<p>事業名</p>	<p>企業間連携促進（SSIBA）事業</p>																																
<p>事業概要</p>	<p>地方創生推進交付金を活用し、平成 28 年度から平成 30 年度まで食品工業団地にて実施した「新発田企業コンシェルジュモデル事業」の全市的事業展開を進めるため、企業間連携と企業・教育機関連携を促進していくことを目指す。</p>																																
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R3 年度)</th> </tr> <tr> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業間連携事業参画企業の採用 3 年以内の社員に対する自己都合による離職者割合の改善値</td> <td>0%</td> <td>△7.4%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>ハローワーク新発田管内における高校生の管内就職率</td> <td>55.9%</td> <td>57.7%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>56.5%</td> </tr> <tr> <td>企業間連携事業に参画する企業数</td> <td>0 社</td> <td>15 社</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>30 社</td> </tr> </tbody> </table>						数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	企業間連携事業参画企業の採用 3 年以内の社員に対する自己都合による離職者割合の改善値	0%	△7.4%	—	—	1.5%	ハローワーク新発田管内における高校生の管内就職率	55.9%	57.7%	—	—	56.5%	企業間連携事業に参画する企業数	0 社	15 社	—	—	30 社
数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)																												
		R1 年度	R2 年度	R3 年度																													
企業間連携事業参画企業の採用 3 年以内の社員に対する自己都合による離職者割合の改善値	0%	△7.4%	—	—	1.5%																												
ハローワーク新発田管内における高校生の管内就職率	55.9%	57.7%	—	—	56.5%																												
企業間連携事業に参画する企業数	0 社	15 社	—	—	30 社																												
<p>外部評価 (コメント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「新発田企業コンシェルジュモデル事業」は成果があった。今後、市内の各工業団地と交流を図ることが必要である。 ・中小企業の中には社員研修の仕方がわからず困っている企業もあるので、市内中小企業全社に向けて研修会を開く機会を作っていただきたい。 																																

R2 年度地方創生関係事業検証結果

事業名	若者移住定住促進事業～拡充版～																															
事業概要	地方創生推進交付金を活用し、平成 28 年度から平成 30 年度に実施した「若者移住定住促進プロジェクト」の検証をもとに、胎内市と連携して、首都圏での移住セミナーや移住体験交流ツアーを展開する。事業を通じて新発田市はもとより周辺地域の魅力を伝えるとともに、広域圏の仕事情報を発信していくことで、移住・定住の促進を図る。また、首都圏に住む新発田ゆかりの若者とのつながりを深める取組や、新発田に住む子どもたちを対象に歴史や文化、人と人とのつながりなどを通じて、地域の誇りや愛着心を育む取組を実施する。																															
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 30%;">数値目標</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">基準値</th> <th colspan="3" style="width: 40%;">実績値</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">目標値 (R3 年度)</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">R1 年度</th> <th style="width: 10%;">R2 年度</th> <th style="width: 10%;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">本事業を通じて移住した者の数</td> <td>5 人</td> <td>7 人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">移住セミナー・移住体験ツアーの参加者数</td> <td>30 人</td> <td>44 人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>50 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">サポーターズクラブのメンバー数</td> <td>80 人</td> <td>91 人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>160 人</td> </tr> </tbody> </table>					数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	本事業を通じて移住した者の数	5 人	7 人	—	—	20 人	移住セミナー・移住体験ツアーの参加者数	30 人	44 人	—	—	50 人	サポーターズクラブのメンバー数	80 人	91 人	—	—	160 人
数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)																											
		R1 年度	R2 年度	R3 年度																												
本事業を通じて移住した者の数	5 人	7 人	—	—	20 人																											
移住セミナー・移住体験ツアーの参加者数	30 人	44 人	—	—	50 人																											
サポーターズクラブのメンバー数	80 人	91 人	—	—	160 人																											
外部評価 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャルツアーをウェブサイトで体験できるような企画を検討してはどうか。 ・移住セミナー等に際して市民の関わりを多くできないだろうか。 ・高校生は例年よりも県内の大学を希望する生徒が多いようだ。この現状を踏まえて、子どもたちに自然豊かな新発田の魅力を感じてもらえるような環境を創出し、新発田への定住や移住を進めて欲しい。 ・地方移住を本気で考えている人たちが急増している。移住を安全に受け入れる施策をアピール出来れば良い。 																															

R2 年度地方創生関係事業検証結果

事業名	大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト																				
事業概要	<p>明治 45 年、当市出身の実業家・大倉喜八郎が向島隅田川沿いに建設した別邸の一部『蔵春閣』が（公財）大倉文化財団から移築・復元を含め、新発田市に寄附されることとなった。大倉スピリッツ「進一層」の精神に基づき、『蔵春閣』という新たな市のシンボルを宝にして、市民意識の醸成と関係人口、交流人口の増加を図ることにより、地方創生を加速させる。</p>																				
K P I	<table border="1" data-bbox="450 539 1771 1050"> <thead> <tr> <th data-bbox="450 539 920 671" rowspan="2">数値目標</th> <th data-bbox="920 539 1182 671" rowspan="2">基準値</th> <th data-bbox="1182 539 1469 600">実績値</th> <th data-bbox="1469 539 1771 671" rowspan="2">目標値 (R1 年度)</th> </tr> <tr> <th data-bbox="1182 600 1469 671">R1 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="450 671 920 804">駅前エリア来訪者数</td> <td data-bbox="920 671 1182 804">1,000 人</td> <td data-bbox="1182 671 1469 804">1,530 人</td> <td data-bbox="1469 671 1771 804">2,000 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 804 920 920">観光入込客数</td> <td data-bbox="920 804 1182 920">265 万人</td> <td data-bbox="1182 804 1469 920">238 万人</td> <td data-bbox="1469 804 1771 920">265 万人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 920 920 1050">中心市街地の歩行者・自転車通行量</td> <td data-bbox="920 920 1182 1050">平日：5,159 人 休日：5,006 人</td> <td data-bbox="1182 920 1469 1050">平日：5,496 人 休日：5,360 人</td> <td data-bbox="1469 920 1771 1050">平日：5,500 人 休日：4,500 人</td> </tr> </tbody> </table>				数値目標	基準値	実績値	目標値 (R1 年度)	R1 年度	駅前エリア来訪者数	1,000 人	1,530 人	2,000 人	観光入込客数	265 万人	238 万人	265 万人	中心市街地の歩行者・自転車通行量	平日：5,159 人 休日：5,006 人	平日：5,496 人 休日：5,360 人	平日：5,500 人 休日：4,500 人
数値目標	基準値	実績値	目標値 (R1 年度)																		
		R1 年度																			
駅前エリア来訪者数	1,000 人	1,530 人	2,000 人																		
観光入込客数	265 万人	238 万人	265 万人																		
中心市街地の歩行者・自転車通行量	平日：5,159 人 休日：5,006 人	平日：5,496 人 休日：5,360 人	平日：5,500 人 休日：4,500 人																		
外部評価 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等への普及啓発もリモートワークショップで検討してはどうか。 ・駅から清水園への人の流れにあって、蔵春閣も PR すれば県外からの観光客も注目し、賑わいを創り出していける。 ・市民にも広く知ってもらい、後押ししてもらうことも必要である。 ・市民が気軽に集える場所、観光客も気軽に立ち寄れる場所としてマネジメントして欲しい。 																				